

# 4 教育拠点

## くまもと県北教育拠点

### 1. 活動概要

くまもと県北教育拠点は2015年4月、公立玉名中央病院に地域医療の支援及び地域医療の実践教育を行うべく開設されました。2名の常駐寄附講座教員でのスタートでしたが、2021年3月、玉名地域保健医療センターと合併し、新たに「くまもと県北病院 くまもと県北教育拠点」として移転し、2023年3月現在、指導医5名、総合診療専門医研修の専攻医1名に加え、さらに地域医療・総合診療実践学寄附講座から人的サポートもあり、病院の診療支援および実践的な教育の提供を継続しています。

2022年卒後臨床研修プログラム研修医(基幹型1年次：8名、2年次：4名、協力型：計1名)特別臨場実習(クリニカル・クラークシップ)の「総合診療科」の受け入れも積極的に行っております。地域医療・総合診療実践学寄附講座スタッフは、医学生、初期研修医、専攻医とともに総合診療科として救急外来、一般外来、入院、在宅医療に取り組み、地域の医療を支援しつつ、実践的な教育を行っています。8年経過した現在までに、診療面については救急車不応受率4%を下回り、救急車受け入れ台数も2800台/年以上を維持し(いずれも県北地域最高の成績)、入院患者数も右肩上がりの業績を達成しております。その結果、2022年度は基幹型研修医は定員の8名がフルマッチを達成し、2023年度も7名がマッチしました。

新型コロナウイルス感染(COVID-19)についても、田宮医師が対策委員長として指揮し、総合診療科も院内の感染対策チーム、有明保健所、郡市医師会および近隣の感染症指定病院と連携をとり、COVID-19のトリアージ業務、外来・入院診療ローテーションに感染チーム医師・呼吸器内科医師とともに参画しています。

一方で、コロナ後に向けた取り組みも既に開始し、中でも国際交流の機会を広げるべく、拠点が中心となり、タイ国のメーファールアン大学との教育協力の再開が決定しました。

2021年10月に田宮医師が病院長に任命され、新体制の下、くまもと県北病院及び当拠点は、地域医療において円滑に発展し、行政並びに玉名郡市医師会とも引き続き協力し、更に発展すべく、尽力する次第です。



タイ国チェンライのメーファールアン大学病院

### 2. 年間活動実績

月	日	行事
4	1	オリエンテーション
	1, 5, 8, 12, 15, 19, 22	郡市医師会新型コロナウイルス会議
5	13	玉名在宅ネットワーク会議
6	6, 10, 13, 17, 20, 24, 27, 31	郡市医師会新型コロナウイルス会議
	8	玉名在宅ネットワーク会議
7	1, 5, 8, 12, 15, 19, 22, 26, 29	郡市医師会新型コロナウイルス会議
	12	玉名在宅ネットワーク会議
8	2, 5, 9, 12, 16, 19, 23, 26, 30	郡市医師会新型コロナウイルス会議
	9	玉名在宅ネットワーク会議
9	11	有明地区研修医合同カンファレンス
	2, 6, 9, 13, 16, 20, 27, 30	郡市医師会新型コロナウイルス会議
10	14	玉名在宅ネットワーク会議
	4, 7, 11, 14, 18, 21, 25, 28	郡市医師会新型コロナウイルス会議
11	11	玉名在宅ネットワーク会議
	1, 4, 8, 11, 15, 18, 22, 25, 19	郡市医師会新型コロナウイルス会議
12	9	玉名在宅ネットワーク会議
	2, 6, 9, 13, 16, 20, 23, 27	郡市医師会新型コロナウイルス会議
1	13	玉名在宅ネットワーク会議
	6, 10, 13, 17, 20, 24, 27, 31	郡市医師会新型コロナウイルス会議
2	10	玉名在宅ネットワーク会議
	3, 7, 10, 14, 17, 21, 24, 28	郡市医師会新型コロナウイルス会議
3	17	玉名在宅ネットワーク会議
	3, 7, 10, 14, 17, 28, 31	郡市医師会新型コロナウイルス会議
	14	初期臨床研修 修了式



2019年 最初の教育協力協定調印式

### 3. 活動報告

#### 1 教育活動

##### ◆ 特別臨床実習

熊本大学医学部の1チーム3週間の特別臨床実習(総合診療科 クリニカル・クラークシップ)をくまもと県北教育拠点で受け入れています。

本年度も各学生に入院患者の担当を割り当て、それぞれが日常診療業務に医療スタッフの一員として診療に参加し、診療の中から自らのクリニカルクエストを見出し、これに基づいた論文検索から担当患者への適応までを期間内で実践することとし、学習成果の発表を抄読会形式で実施し、評価の場としております。

コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、時に訪問看護実習が中止されたり、実習そのものが中断されることがあり、院外実習のカリキュラムが十分に遂行できない状況がありました。そんな逆境の中でも訪れた学生は積極的に実習に参加し、コロナ禍でこそ経験できた実習を含め、最低限の成果は得られたものと考えます。

2022年度以降、依然としてCOVID-19診療を行いつつ、診療を通じた教育を更に発展させ実行する為には、科学に基づいた予防策を十分に実施し、指導医、専攻医、研修医、医学生「屋根瓦式」の指導・教育体制が不可欠です。今後の引き続き多くの医学生が満足できる地域での医学教育の環境、質の向上に努めたいと思います。

ゆっくりだけど、確実に前進

#### くまもと県北教育拠点における週間スケジュール

1-2週					
	月	火	水	木	金
7:30			プライマリケア レクチャー	プレゼン研修	
8:00	救急合同 カンファ	モーニング レクチャー			
8:30	医局ミーティング/総合診療科入院患者棟回診				
9:00	外来研修	外来研修 or 訪問看護	外来研修	外来研修 or 訪問看護	外来研修
13:30	外来レビュー	外来レビュー	訪問診療 or 緩和ケア回診 (不定期)	外来レビュー/ 各種講義	外来レビュー
15:00	病棟研修	リエゾン カンファ		病棟研修	病棟研修
16:30	患者 カンファレンス	病棟研修	病棟研修		皮膚科合同 カンファ
17:00	振り返り				週間振り返り
17:30	自己研修				

3週					
	月	火	水	木	金
7:30			プライマリケア レクチャー	プレゼン研修	
8:00	救急合同 カンファ	モーニング レクチャー			
8:30	医局ミーティング/総合診療科入院患者棟回診				
9:00	外来研修	外来研修 or 訪問看護	外来研修	外来研修 or 訪問看護	外来研修
13:30	外来レビュー	外来レビュー	訪問診療 or 緩和ケア回診 (不定期)	外来レビュー/ 各種講義	外来レビュー
15:00	病棟研修	リエゾン カンファ		病棟研修	病棟研修
16:30	新患 カンファレンス	病棟研修	病棟研修	TMEC	皮膚科合同 カンファ
17:00	振り返り				週間振り返り
17:30	自己研修				

- プライマリケアレクチャー：  
熊本県地域医療支援機構で受講可能なオンラインレクチャー
- モーニングレクチャー：  
臨床のみならず、地域医療に関するレクチャー
- リエゾンカンファ：  
総合診療科入院患者の退院に向けての目標設定、艦長調整を多職種で検討するカンファレンス
- TMEC：  
クリニカルクラークシップ医学生による担当症例についての発表会



救急外来に設置された安全キャビネットとLAMP機器

## ◆ 初期臨床研修(総合診療科研修)

2022年度はくまもと県北病院の基幹型研修プログラムに8名の研修医がマッチし、基幹型2年次4名と国立熊本医療センタープライマリケアコースの協力型として1名、計13名の初期臨床研修医(研修医)を受け入れました。くまもと県北教育拠点は、総合診療科研修および地域医療研修を担当し、指導を行いました。

まず総合診療科研修で研修医は、外来・入院・訪問診療を研修し、自らが診療の始めから終わりまでを一貫して実践し、研修医中心の参加型研修を実践しました。研修医は患者を「主治医」として担当し、指導医との連携の中で中心的な役割を担います。この事で、研修医からは「自分の患者」という意識が芽生え、責任感と医師になったことの実感が得られたとの評価を得ています。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けつつ、十分な予防策を取った上、可能な限りの実習を実践しました。

結果、2023年度の基幹型卒後臨床研修医は7名マッチを達成しました。

## ◆ モーニングレクチャー

モーニングレクチャーとは…

- \* 各診療科、部署のエキスパートから実践に即した知識や技術を学ぶ場です。写真は、眼科医による眼底鏡の使い方指導の風景です。
- \* 指導は医師に限らず、様々な職種のスタッフに協力していただき、幅広いテーマの研修が可能となっています。



## ◆ 講演会・セミナー

新型コロナウイルス感染の蔓延で講演会・セミナーは多くがオンラインとのハイブリッド開催となりました。その中で「日本内科学会九州地方会」「有明地区研修医合同カンファレンス」「日本プライマリ・ケア連合学会九州地方会」はWEB開催となり、初期研修2年次の嶋永先生が症例発表を行いました。尚、嶋永先生は内科学会地方会で奨励賞を受賞されました。

## ◆ 総合診療専門医(専攻医)研修

くまもと県北教育拠点およびくまもと県北病院では、熊本大学総合診療専門研修プログラムの「総合診療Ⅱ」、「内科研修」、「小児科研修」および「救急研修」を実施しており、2022年度は1名の専攻医が研修しました。彼らは自らの診療研修にとどまらず、初期研修医、医学生の教育の一端を担っています。この為、病院機能もかなりの部分で専攻医に依存する部分も多くなっており、専攻医の負担を軽減するシステムの構築(働き方改革)と総合診療専門研修プログラムへのリクルートは重要になっています。その様な中、2023年度からは2名の新しい専攻医を迎えることになり、今後の発展に期待されます。

## II 診療

くまもと県北病院で、総合診療科での外来および入院診療を行っています。また、他診療科からの相談(院内コンサルテーション)や救急診療にも携わりました。

総合診療科での診療に当たり、くまもと県北教育拠点に常駐する指導医5名(内科専門医・指導医、プライマリケア認定医・指導医、病院総合診療認定医・指導医、リウマチ専門医、総合診療専門医、家庭医療専門医、血液内科専門医)の他、研修医、地域医療・総合診療実践学寄附講座の教員も外来診療、救急医療に携わりました。

くまもと県北病院 総合診療科外来担当医表

月	火	水	木	金
小山	小山	田宮	松井	小山
草野	草野	草野	小山	中村
中村・下地	中村	下地	下地	
佐藤(午後)				佐藤(午後)

## III 年間診療報告

玉名拠点開設から8年目となりますが、医学生、初期研修医、専攻医および地域医療・総合診療実践学寄附講座スタッフがチームを形成し、総合診療科外来として外来診療および他診療科からのコンサルト対応を行うとともに、平日の救急外来を担っています。コロナ禍で受診控えで受診患者数が減少する中でも、入院患者数は徐々に増加傾向にあります。

また、救急診療では受入件数もくまもと県北地域最多を維持しており、不応需率も低い値で推移しています。



2022年度 研修医 全12名

くまもと県北病院基幹型：11名(1年次：8名、2年次：3名)

熊本医療センター：1名(2年次)

# 河浦教育拠点

## 1. 活動概要

河浦教育拠点は2021年に天草市立河浦病院に設置され、その年の10月よりレジデント1名の受け入れを開始しました。また、クリクラとして総合診療、地域医療で熊本大学医学部の学生を受け入れています。2022年度も総合診療5名、地域医療2名を受け入れました。今後もさらに受け入れ数を増やすことを目標にしています。

## 2. 年間活動実績

クリクラとして総合診療、地域医療ともに希望がある際に受け入れを行う。同時に1～2名程度。

## 3. 活動報告

### Ⅰ 教育活動

- クリクラ  
総合診療5名、地域医療2名。その他、個人的に申し入れがあった他大学学生の病院見学・実習あり。
- 初期研修  
熊本赤十字病院より4名
- 後期研修  
総合診療科 本田医師

### Ⅱ 診療

- 外来担当  
鶴田：月・火・水  
本田：木・金

### Ⅲ 年間診療報告

#### ◆ 診療

外来患者数、入院患者数、在宅診療患者数とも、1年前と比較して患者数の増加があります。1年前は途中までレジデントがおらず総合診療科医一人だったため、医師数増加したことも患者数増加の一因ではありますが、それだけではなく、特に外来、在宅については着実に総合診療科への患者の認知、定着があると考えられます。実際、自分自身の外来予約患者数は昨年に比較し増加しています。また、レジデントは特に発熱外来で外来診療に大きく貢献してくれました。

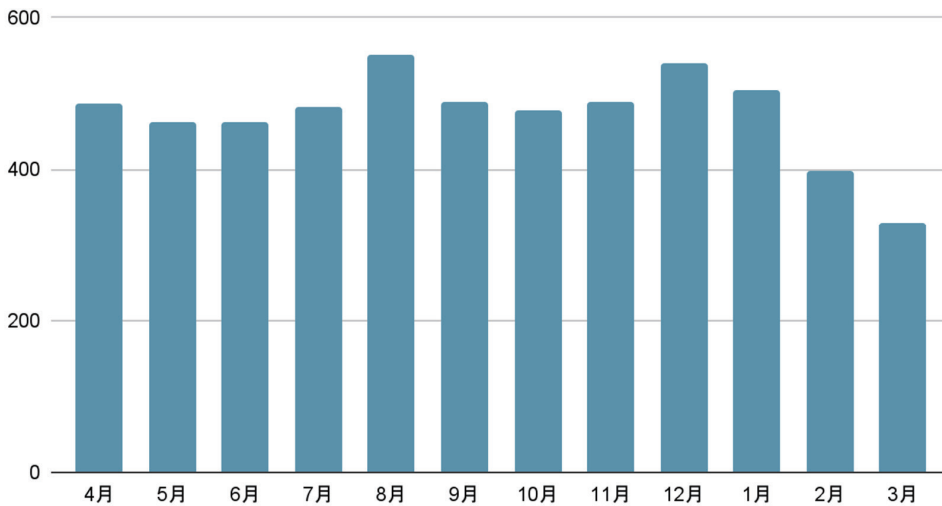
#### ◆ 院内活動

在宅業務の院内職員を中心に、院内活動の活性化を図ってきました。2022年春からは、院内多職種メンバーの意欲から、Advanced Care Planning (ACP) についての活動を院内外で行っていくことを開始しました。そのため、ACP委員会を院内に設置し、勉強会や広報活動などを開始するようになりました。また、院内外での勉強会などの活動を行ううえで必要なファシリテーションスキルを磨きたいと院内有志から希望が挙がり、ファシリテーションの勉強会を不定期ですが行うようになりました。現在も院内スタッフのスキル向上に取り組んでいます。その他、パソコンや携帯電話操作が苦手な職員を対象にZOOMの使い方講習を行い、オンライン勉強会への参加を促す取り組みも行いました。

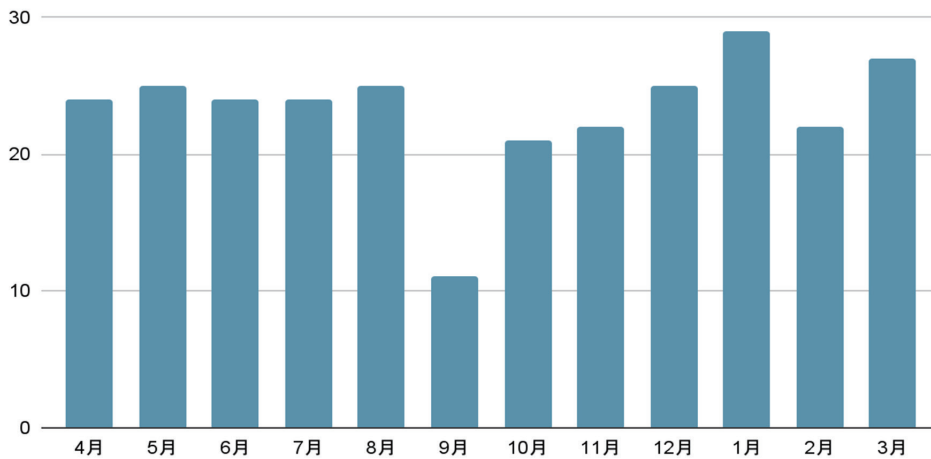
## ◆ 地域活動

天草西地区地域の多職種合同の連携チーム「しきちの会」のメンバーとして多職種とのかかわり、研修会などの取り組みをおこなってきました。一般向けの勉強会はコロナ禍のためなかなかおこなえませんが、3月の河浦地区での祭りには病院として参加し、健康に関する啓発活動を行いました。また、行政と連携し、河浦地域で比較的多い糖尿病への啓発活動、健診の啓発活動、病院との関わりのない高齢世帯への訪問調査などの検討や実施を行ってきました。その他、当院は国診協関連病院であることもあり、国診協若手の会世話人として全国規模で国診協の勉強会などを行うメンバーとして活動しています。

### 外来患者数



### 訪問診療数



## Ⅳ セミナー・勉強会等

- 6月22日 院内勉強会（成人学習）
- 6月頃放送 ケーブルテレビ健康講座（フレイルについて）
- 9月14日 症例勉強会（肝内胆管癌症例：本田先生発表）
- 10月26日 地域多職種勉強会（ACP）
- 11月1日 社会福祉協議会講演会（糖尿病）
- 11月25日 国診協若手の会勉強会（診療所経営）
- 2月24日 国診協若手の会勉強会（行政との付き合い方）
- 2月27日 院内勉強会（ACP）

